

都道府県名：佐賀県 団体名：佐賀市親林交流隊 ～ふじグリーンネットワーク～

地域

佐賀市親林交流隊ふじグリーンネットワークの活動拠点である佐賀市富士町は、佐賀県北部に位置し、脊振・天山県立自然公園など3つの自然公園、北部九州最大規模の嘉瀬川ダムなど2つのダム、古湯・熊の川温泉郷を有する「緑と清流と温泉の町」です。

町の北には脊振山系、南には天山山系が連なっており、その間にある起伏に富んだ大地上に、町全体の面積143.25km²の約80%が森林に占められた富士町があります。富士町は、一級河川嘉瀬川の豊かな水を育む水源涵養地になっており、その川は穀倉佐賀平野をうるおし、海苔生産量日本一の有明海へとそそぐ佐賀県の重要な水源地域となっています。

経緯

干拓によって広げられてきた佐賀平野は低平地であり、度重なる水害に悩まされてきました。その問題を解決するため、佐賀市富士町に嘉瀬川ダムが建設されることとなりましたが、ダム建設にあたって住宅160戸や林地が水没するという犠牲が払われました。そこで、平成7年10月、町の呼びかけによって嘉瀬川流域の2市15町(当時)の住民を中心に隊員120名で発足したのが活動の始まりです。以降、隊員と地域住民とで協力して植林や下草刈り、森林の維持管理活動を長きにわたって実施してきました。そのおかげで森林がダムをうるおし、その水は現在も佐賀県内の多方面で利用されています。

功績内容

平成7年から嘉瀬川ダムの水源地域である佐賀市富士町麻那古地区内「よろこびの森」(3.15ha)、一級河川嘉瀬川の流域である菅木地区(0.2ha)、鎌原地区(0.1ha)などで下草刈り、間伐、植樹活動を行っています。年間約200本の苗木を植栽し、森林再生に力を入れています。

隊員と地域住民が一緒になって活動に取り組んでおり、地域住民の生活に根ざした話から佐賀の森林の現状を学んだり、巨木めぐりツアー等のイベントを開催するなど、水源地域における地域活性化にも貢献しています。

また、五感を使って森林と関わることを重視しており、しいたけの菌打ち、山菜取り、間伐材を活用した木炭づくりなど、森林の多様で魅力的な活用法を実践しています。

◆平成14年10月 ふれあいの森林づくり国土緑化推進機構会長賞受賞

◆平成24年11月 佐賀県緑化功労者等表彰(知事感謝状)



佐賀県緑化功労者等表彰式

よろこびの森 下草刈り



植樹活動



しいたけの菌打ち交流会



巨木めぐりツアー